

奉祝

御鎮座一二七〇年奉祝記念事業のご奉賛のお願い

今春元旦、当神社御鎮座一二七〇年を奉祝する記念事業を発願致しました。

ごせいはいしきむく

『御成敗式目』誓願神社の最初に名を連ねる当箱根神社では、第一条に定められる「神社を修理し、祭祀を専らにすべきこと」即ち「神社殿をそして境内を整え、神祭りをつかりやらなくてはいけません



修 改 の 内 部 の 殿 拝

ん。そうすることで神々の御加護のもと、日本の国の発展と、国民の幸福はいつまでも続くのですから」と、これに続く「神は人の敬によりて威を増し、人は神の徳によりて運を添ふ」即ち「神様は私共の尊崇・感謝と祈願をお受けにあられて御威光を輝かされ御神威を高めます。私共は、力を増

ざれた神様の御神徳即ち、生きる力・元気の源をいただいて幸せに進んで行けるのです。」との言葉に倣い、御鎮座一二五五年より八期十一年に亘る奉祝事業を発願し皆様方の格別なる御篤志による御支援のもと共に歩みを進めて参りました処、お蔭様にて御鎮座一二六五年を迎えた令和四年十月めでたく完遂することが叶いました。

ご一緒にお進みいただきました皆様方の格別なる御篤志に、衷心より厚く御礼申し上げる次第でございます。

この先の最終整備事業として十年後に予定しておりました御屋根の葺替と拝殿内部改修及び向拝改築に加え、第三駐車場他境内及び施設各所の整備事業でございましたが、昨春秋に御本殿両脇にある浜縁高欄の腐食が発覚し、その全面修造が急務となりました。

よって今般御本殿浜縁高欄の修造に併せ、懸案の前述事業を加えて、今後の震災対応やバリアフリーを更に発展させた、より強固で今以上に景観も整い、ご参拝の皆様のご利便を増し、更には神社の尊厳をいよいよ高める最終整備事業として発願したものであります。

十一年かけて整えて参りました整備事業の納めとして発願進発致しました本記念事業は、これを修しまして、令和八、九年を迎える、伊勢の御遷宮「御木曳行事」への参加奉仕と第六十三回神宮式年遷宮のご奉賛に進む所存です。

皆様には今回もまた、ご一緒に

お進みいただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

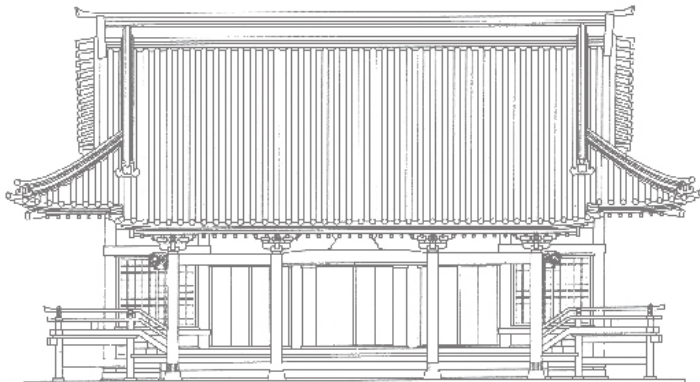
尚、事業工程は令和七年四月一日～八年三月末日を予定しており、工期中、令和七年八月中旬以降同年十一末日までの約四ヶ月間は、恒例祭並びに御祈禱は儀式殿にて斎行し、結婚式は神楽殿でのご奉仕となりますが、祭祀の厳修とご参拝の皆様方へのご不自由を極力押さえて進めて行く所存でございます。かくして令和八年の新春は、皆様とご一緒に、新しい御社殿で迎える予定ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様には、重なるご奉賛のお願いにて誠に恐縮に存じますが、最終整備事業の完遂に向けて格別なるご高配を賜り、赤誠溢るゝ真心で、ご一緒に御社殿並びに境内を整え、神祭りを奉修して日本の国と国民の安寧発展をご祈念下さいますよう、奉祝記念事業ご奉賛のお願いを申し上げます。

令和七年元旦

箱根神社宮司 小澤 修二
責任役員 川邊 隆夫
責任役員 川口 延明
責任役員 杉山 幹雄
責任役員 村瀬 幸男
箱根神社総代 一同

御社殿正面向拝の改築



御本殿両側高欄・浜縁の修造



◇ご奉賛について

総事業額

一、金 参億円也 (内奉賛募財目標額金一千万円也)

事業内容

御本殿浜縁高欄修造・御社殿御屋根葺替・拝殿内部改修・向拝改築・職員職舎新築・九頭龍本宮休憩所全面改修・石玉垣新設・記念碑建立・第三駐車場他各所の境内及び諸施設の整備

ご奉賛金

一口 金一万円也

一、金 一 万円 以上 ご芳名を記した芳名簿を御神前に安置・祈願し永久保存致します

一、金 五 万円 以上 右芳名簿祈願を奉修し、ご芳名を記念碑に刻銘致します

一、金 五十万円 以上 右芳名簿祈願を奉修し、ご芳名を石玉垣並びに記念碑に刻銘し、一、金 壹 百万円 以上 感謝状と記念品を贈呈致します。

金壹百万円以上の方は記念碑の刻銘が異なります

但し、石柱の本数が三十八本と限られておりますので、刻銘が、正面と両側面になる場合もございます事を何卒ご了承願います
また、前述事由により先着順とさせていただきますので、洵に恐縮乍ら、よろしくお願い申し上げます

お 申 込

申込用紙にご記入の上、ご奉賛金を添えてお申込み願います

ご 納 金

口座振込にてご奉賛の方は、お申込みの上、次の口座にお振込み願います

①さがみ信用金庫 湯本支店 普 〇〇五〇五一六

□座名 宗教法人箱根神社

②スルガ銀行 箱根支店 普 六六八三〇〇

□座名 宗教法人箱根神社

申 込 締 切

令和八年一月末日までにお申込み願います
事業完遂は、令和八年三月末日の予定です

*奉祝記念事業の工事中は、皆様のご参拝に際しご迷惑をおかけ致す事があろうかと存じますが、何卒ご容赦下さいますようお願い申し上げます



記念碑の建立

*第一、第二次記念碑の横に新たに建立し、ご芳名は背部にセラミック陶板で刻ませて戴きます

御鎮座 1270 年奉祝記念事業の御奉賛について （「石玉垣」への刻銘についてのご説明です）

* 説明文を良くお読み戴きまして、裏面の申込書にご記入戴きますよう、お願い申し上げます
尚、ご不明な点がございましたら、社務所まで、ご連絡願います

箱根神社社務所 0460-83-7123

③ 石玉垣刻銘の選択

金50万円以上ご奉賛の方
金100万円以上ご奉賛の方

- ◆ 石玉垣への刻銘は、ご氏名のみ、会社名のみ、又は両方併記して、2行で記載致します
- ◆ 左記の①②③のいずれかを○でお囲み下さい
 - ① 会社名・役職・氏名を併記します
 - ② 会社名だけを中央に入れます
 - ③ 氏名だけを一名中央に入れます
 - ④ 氏名だけを二名入れます
- ◆ 下記は、記念碑刻銘文字の刻銘例です
- ◆ 刻銘はどちらも縦書きです。刻銘が長い場合は、文字が扁平になります事をご了承承願います
- ◆ ログマークの刻銘と、場所の指定は、お受け出来ません
- ◆ 石柱の本数が三十八本と限られておりますので、刻銘が、正面と両側面になる場合もございます事を何卒ご了承承願います
- ◆ また、前述事由により、先着順とさせていただきますので、洵に恐縮乍ら、よろしくお願い申し上げます

① 箱根株式会社
代表取締役 社長 箱根一太郎

② 箱根芦ノ湖(株)

③ 箱根一太郎

④ 箱根 花神一郎

御鎮座 1270 年奉祝記念事業の御奉賛について （「記念碑」への刻銘についてのご説明です）

* 記念碑の芳名板は、1次2次同様 2000 年耐久のセラミック陶板を使用して掲出致します

① 記念碑刻銘の選択（個人？）

金50万円以上
金50万円以上
ご奉賛の方

- ◆ 記念碑への刻銘は、ご氏名か、会社名を、1行で記載致します
- ◆ 左記の①②のいずれかを○でお囲み下さい
 - ① 会社名だけを入れます
 - ② 氏名だけを入れます
- ◆ 左記は、記念碑刻銘文字の原寸例です
- ◆ 刻銘はどちらも縦書きです。刻銘が長い場合は文字が扁平になります事をご了承承願います
- ◆ ログマークの刻銘と、場所の指定はお受け出来ません

(個人) 箱根神一郎

(会社) 箱根芦ノ湖(株)

□ (株)(有)(医)(財)(社)に変更? →

(個人に限りです)

箱根神一郎花子

箱根太郎花子

箱根 花神一郎

② 記念碑刻銘の選択（区分？）

金100万円以上ご奉賛の方

- ◆ 記念碑への刻銘は、ご氏名のみ、会社名のみ、又は両方併記して、2行で記載致します
- ◆ 左記の①②③のいずれかを○でお囲み下さい
 - ① 会社名・役職・氏名を併記します
 - ② 会社名だけを中央に入れます
 - ③ 氏名だけを中央に入れます
- ◆ 左記は、記念碑刻銘文字の原寸例です
- ◆ 刻銘はどちらも縦書きです。刻銘が長い場合は文字が扁平になります事をご了承承願います
- ◆ ログマークの刻銘と、場所の指定はお受け出来ません

① 箱根株式会社
代表取締役 社長 箱根一太郎

② 箱根芦ノ湖(株)

③ 箱根一太郎

箱根 花神一郎

御鎮座1270年奉祝記念事業

奉贊申込書

A photograph of a restaurant interior. In the foreground, there is a dark wooden table. The floor is covered with a bright red carpet. In the background, there are shelves displaying various bottles, likely wine or spirits. A small, ornate light fixture hangs from the ceiling. The overall atmosphere is warm and elegant.

*裏面の、記念碑・石玉垣への説明文を良くお読み戴きまして、申込書にご記入いただきますようお願い申し上げます
尚、ご不明な点がございましたら、社務所までご連絡願います
箱根神社社務所〇四六〇・八三・七二三

(こちらに石玉垣の刻銘文字を、縦書きでご記入下さい)

◇家譜はご氏名が会社名または商号の併記に限りません。◇全姓ご氏名の併記は文字が小さくなります。◇ロ마자ークは入れられません。◇五箇の場所指定はお受け出来ません。◇本数が限られておりますので、一本に連名とする場合もございます。◇先着順でお願い申し上げます。

神社記入欄	申込書受領日 令和 年 月 日 ☐ ご持参 ☐ 現封郵 ☐ FAX	責任者		
	奉賛金受領日 令和 年 月 日 ☐ ご持参 ☐ 現封郵 ☐ お振込確認			